TOSHIBA

天井パネル　取付説明書

RBC-U31PG(W), U31PG(C), U31PG(N), U31PG(K), U31PG(WS)
RBC-UP31PG(W)

安全上のご注意

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。
つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠ 警告　“ 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定される内容 ” を示します。

⚠ 注意　“ 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定される内容 ” を示します。

＊1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

禁 止　⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

指 示　●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

注 意　⚠は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠ 警告

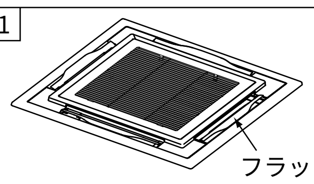
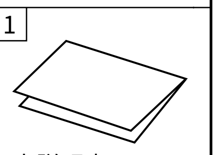
●据え付けは、販売店または専門業者に依頼する
ご自分で据え付け工事をされると、水漏れや感電、火災の原因になります。
●据え付け工事は、この据付説明書に従って確実に行う
据え付けに不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
●据え付けは、重量に十分耐える所に確実に行う
強度が不足している場合は、ユニットの落下により、けがの原因になります。
●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
接続や固定が不完全な場合は、火災などの原因になります。
●アースを必ず接続する
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

●改造、修理は絶対にしない
改造したり、修理に不備があると感電、火災の原因になります。

⚠ 注意

●据え付け作業のときは手袋（※）を着用する
着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）

構成部品

品名	天井パネル	取付説明書
個数	1	1
形状	 フラップ	 本説明書

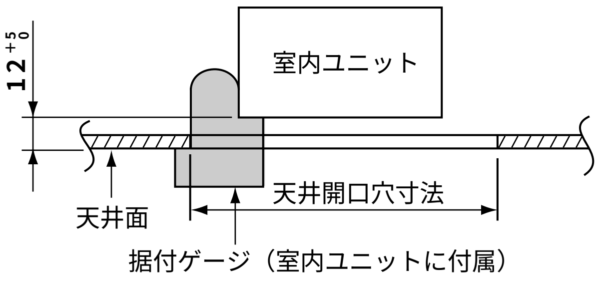
お願い
フラップに無理な力を絶対に加えないでください。故障の原因になります。

1.天井パネル取り付け前の準備

室内ユニット位置の確認

①室内ユニットの据付説明書に従って確認してください。
②天井開口穴が860×860～910×910の範囲内か確認します。
③室内ユニットに付属の据付ゲージを使用し、天井面と室内ユニットの位置出しを行います。天井面と室内ユニットの位置が合わないと風もれや水もれ及びフラップの作動不良等の原因となります。
●天井パネルを下向きに置くことや、立掛け、突起物の上への放置は表面に傷がつきますので絶対にしないでください。また、仮掛け金具が裏面についていますので変形させないように取扱いに注意してください。

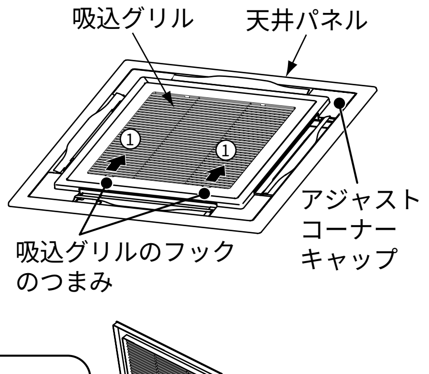
必ず12^{+5}_{0}の範囲内とすること。
この範囲が守られない場合、故障等の原因となります。

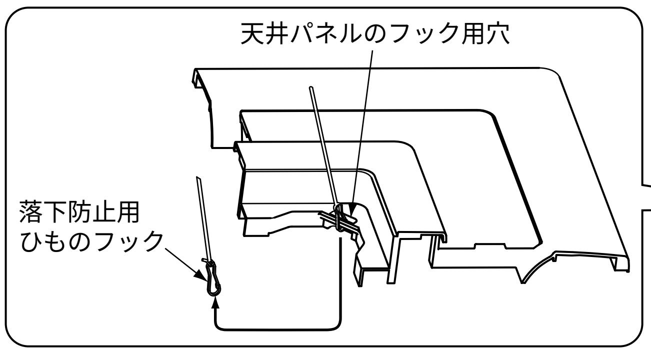


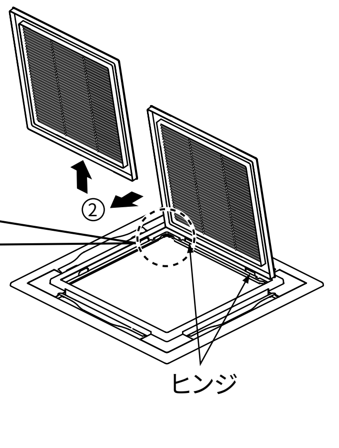
2.室内ユニットへの取り付け

吸込グリルの取りはずし

①吸込グリルの格子から出ているフックのつまみを矢印①の方向にスライドし、吸込グリルを開けます。
②落下防止用ひものフックを天井パネルからはずします。
●吸込グリル側の落下防止用ひものねじは、はずさないでください。
③吸込グリルが開いた状態で矢印②の方向に吸込グリルのヒンジ部を天井パネルからはずします。

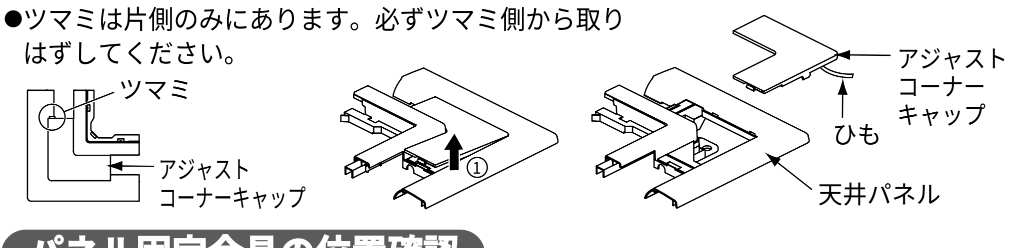






アジャストコーナーキャップの取りはずし

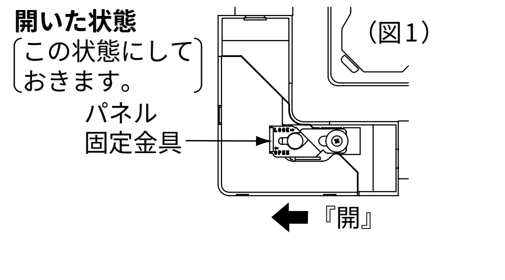
①アジャストコーナーキャップのツマミを矢印①の方向に引き上げ、アジャストコーナーキャップを4角ともすべてはずします。
●ツマミは片側のみにあります。必ずツマミ側から取りはずしてください。



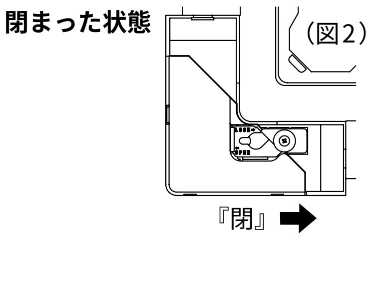
パネル固定金具の位置確認

アジャストコーナーキャップを取りはずした後、パネル固定金具が(図1)のように開いた状態であることを確認してください。
●パネル固定金具が閉まった状態(図2)だとパネルが室内ユニットに取り付きませんので、金具をスライドして開いた状態にしてください。

開いた状態
（この状態にしておきます。）



閉まった状態



天井パネルの取り付け

天井パネルを取り付ける時などフラップに無理な力を加えたりしないでください。（フラップの故障の原因になります）

①天井パネル内面の仮掛け金具（2ヶ所）を室内ユニットの角穴に挿入し仮掛けします。（図1、図2）

●天井パネルは室内ユニットに対して方向性があります。フラップモータ配線を室内ユニットの電気部品箱側に向けてください。

●はずす場合は天井パネルを支えながら仮掛け金具を外側に押してください。

②パネル内枠のコーナー部を持ち上げて、室内ユニットのパネル固定用ねじをパネル固定金具の穴に通し（図3）、パネル固定金具を矢印方向にスライドさせ、所定の位置（図4）までしっかりと押し込みます（4ヵ所）。

●このとき、ねじ頭がパネル固定金具より下になる状態で、パネル固定金具をスライドさせてください。

●パネル固定ねじは出荷時より、室内ユニットに取り付けてあります。

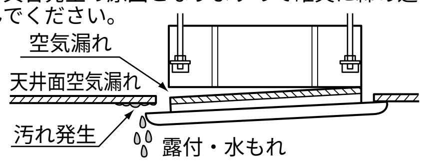
③パネル固定用ねじで4ヵ所を本体に密着するまで締め込みます。（図5）

④パネルが天井に密着したことを確認します。

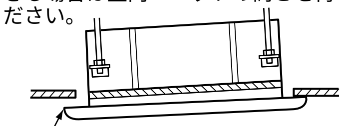
●この時、室内ユニットと天井パネル、及び天井パネルと天井面との間に隙間がないようにしてください。（図6）

ご注意

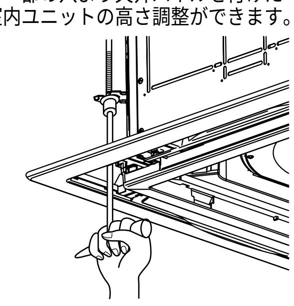
●ねじの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締め込んでください。



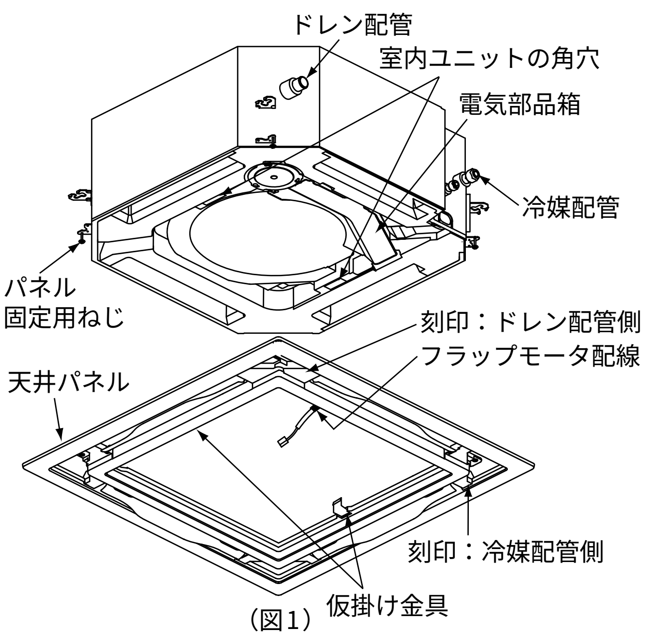
●ねじを締め込んでも天井面と天井パネルとの間に隙間ができる場合は室内ユニットの高さを再調整してください。



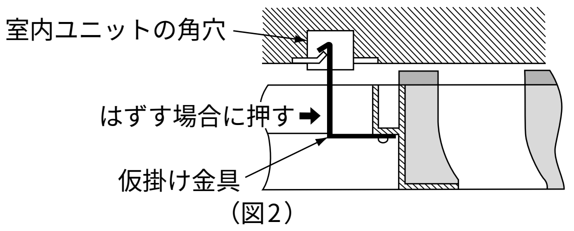
室内ユニットの水平度、ドレン配管等に影響がでない程度であれば天井パネルのコーナー部の穴より天井パネルを付けたまま室内ユニットの高さ調整ができます。



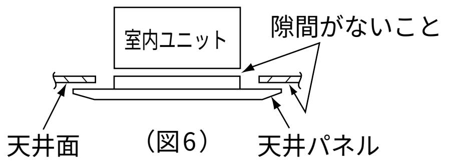
調整後、室内ユニットの取り付けのナットを確実に締め込んでください。



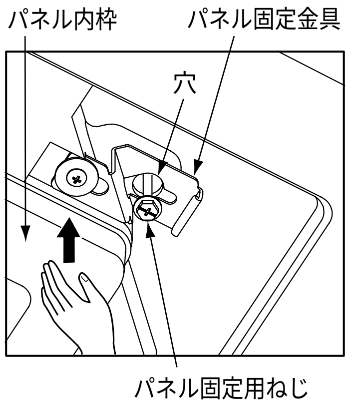
（図1）



（図2）

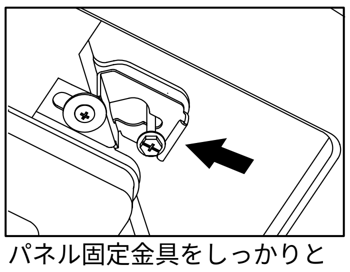


（図6）



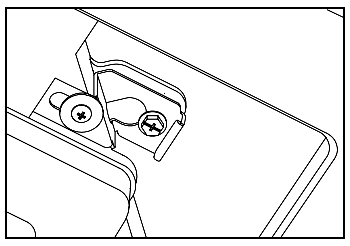
パネル内枠を持ち上げ、パネル固定用ねじ頭を出します。

（図3）



パネル固定金具をしっかりと押し込みます。

（図4）



固定ねじを締め込みます。

（図5）

天井パネルの配線方法

①電気部品箱カバーの取付ねじ（2ヵ所）をはずし、引掛け部を押して電気部品箱カバーをはずします（電気部品箱カバーはヒンジに引掛けたままとなります）。

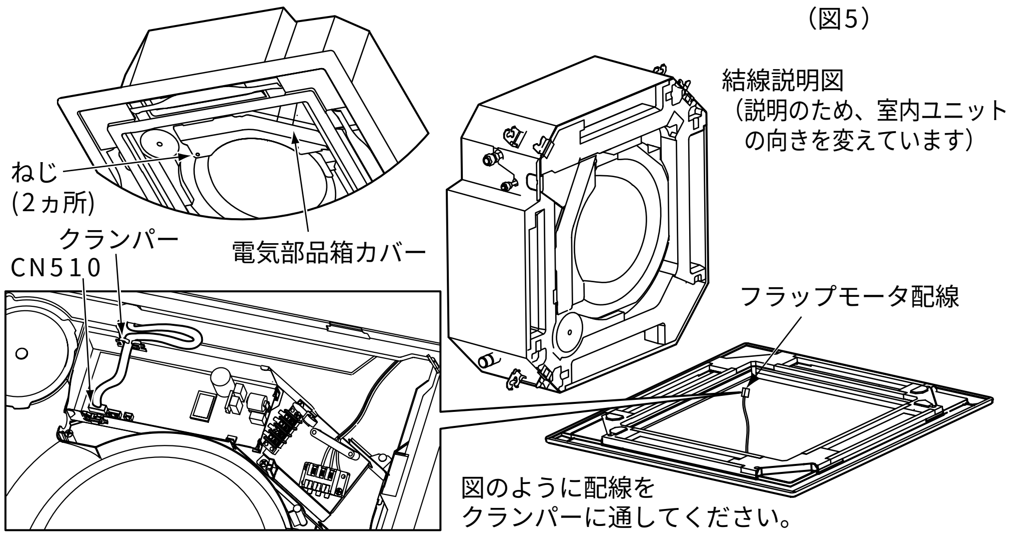
②天井パネルから出ているフラップモータ配線を図のようにクランパーに通して室内ユニットPC板上のコネクタ20P（CN510：白）に接続してください。

●コネクタを接続しないと、フラップが動作しないので、確実に接続してください。

③電気部品箱カバーを、開け方と逆の手順で取り付けてください。

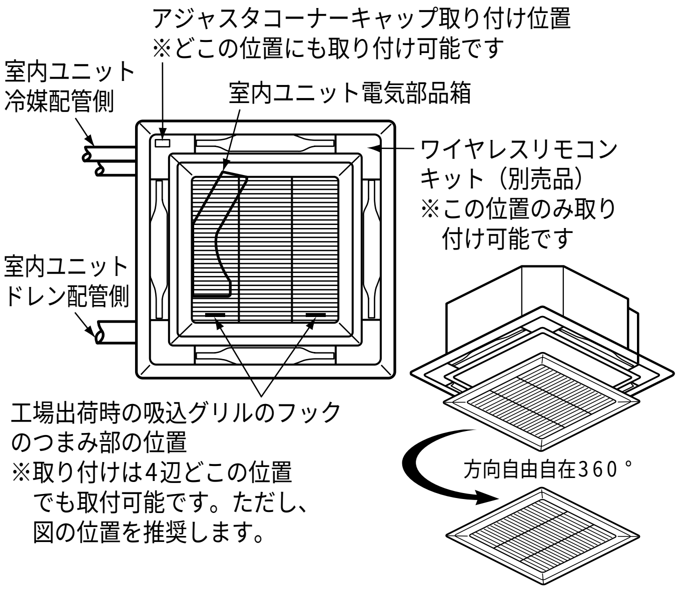
●配線が電気部品箱と電気部品箱カバーの間にはさみ込んでいないことを確認してください。

●配線が室内ユニットと天井パネルの間にはさみ込んでいないことを確認してください。



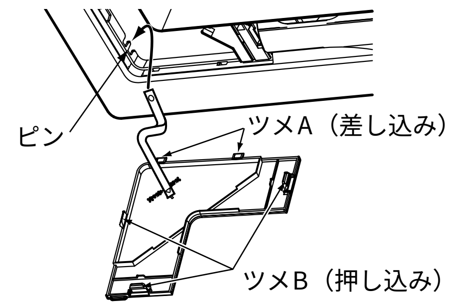
アジャストコーナーキャップ・吸込グリルの取り付け

●この天井パネルは、複数台設置時の吸込グリルの格子の方向合わせや、アジャスタコーナーキャップ部の社名表示の位置をお客様の要望により下図のように変更することができます。ただし、別売ワイヤレスリモコンキットの取り付け位置はユニット本体のドレン配管部の対角コーナーのみとなっています。指定位置以外に取り付けた場合は、別売ワイヤレスキットの故障の原因となります。

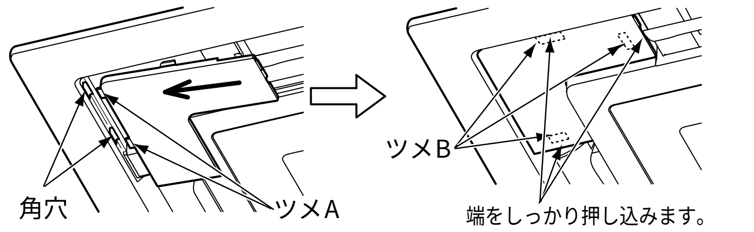


アジャストコーナーキャップの取り付け

●アジャストコーナーキャップのツメがはまっていない箇所があると水もれの原因となりますので、確実にツメB（3ヵ所）をしっかり奥まで押し込み、アジャストコーナーキャップの浮きがないことを確認してください。



①アジャストコーナーキャップのひもを確実に天井パネルのピンに引っ掛けてください。



②パネルの角穴へアジャストコーナーキャップのツメA（2カ所）を矢印の方向へ差し込みます。

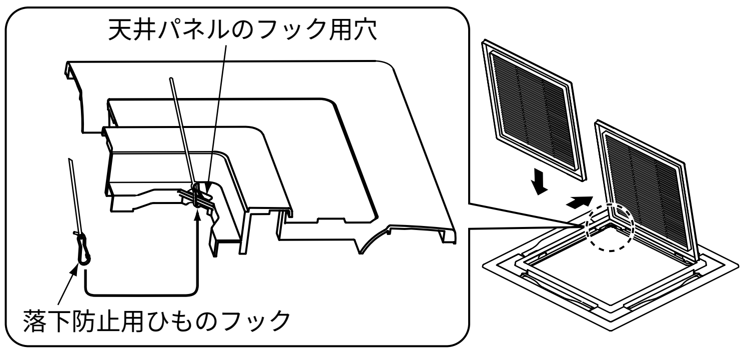
③アジャストコーナーキャップ裏面のツメB（3カ所）がはまるように押し込みます。

吸込グリルの取り付け

●取付方法は**吸込グリルの取りはずし**の項を逆に作業を行ってください。

●吸込グリルを取り付ける際、フラップモータ配線をはさみ込まないよう注意してください。

●必ず吸込グリルの落下防止用ひもを天井パネル本体に取り付けてください。



3.その他

据付後の確認

●室内ユニットと天井パネル、及び天井パネルと天井面に隙間のないことを再確認します。
※隙間があると水もれや露付の原因となります。

●配線接続が確実にされていることを確認します。
※接続されていないとフラップが動作しません。

●アジャストコーナーキャップのツメが確実にはまっていることを確認します。
※ツメがはまっていない箇所があると水もれの原因となります。

ワイヤレスリモコン対応の場合

●取付方法の詳細は、ワイヤレスリモコンキット（別売品）に付属の取付説明書を参照してください。

**オイルガードパネル(RBC-UP31PG(W)の場合は、ワイヤードリモコンにてDCファンタップの設定変更を必ず行ってください。設定方法は、室内ユニット据付説明書「別売フィルタを組み込む場合」に従って設定変更を行ってください。
変更を行わない場合、風量減少により冷房時吹出温度が低下し、露付きの原因になります。**

お客様への引渡し

●据え付け工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認し、お客様に室内ユニットの取扱説明書にそって使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
また、この取付説明書は室内ユニットの取扱説明書および据付説明書とともにお客様で保管していただくように依頼してください。